

ネコは小さなライオンだ。

ライオンは大きなネコだ。



岩合光昭 写真展

ネコライオン

CATS & LIONS

ネコ・オーストラリア アートランド提携
ライオン・タンザニア セレンゲティ国立公園
©Mitsuki Iwago

2013年8月10日(土)→10月20日(日) 東京都写真美術館 地下1階展示室

観覧料：一般 800(640)円 / 学生 700(560)円 / 中高生・65歳以上 600(480)円

()内は20名以上の団体および東京都写真美術協会の会員、東京都写真美術館の映画観賞券、三越カード、アトレビュー・Suicaカード提示の割引料金
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とご一緒の方は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

開催時間/10:00~18:00 (木金は20:00まで、ただし8月10日~9月27日までの木金は21:00まで) 入館は開館の30分前まで 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合翌日休館)

©主催：クレヴィス ©共催：東京都写真美術館 ©協賛：オリンパス株式会社 ©お問い合わせ：クレヴィス(tel.03-6427-2806) www.crevis.jp

岩合光昭 写真展 **ネコライオン** CATS & LIONS



「ネコ」と「ライオン」を撮っていたら、「野生」が見えてきた。

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭。地球上のあらゆる地域をフィールドに大自然と野生動物を撮り続ける一方、私たちの身近に暮らすイヌやネコの撮影も継続し、多くの人々を魅了しています。

岩合の取材対象の中でも、とりわけ多くの時間を割いて撮影を継続しているのがネコとライオンです。岩合はこう話します。「ネコは小さなライオンだ。ライオンは大きなネコだ。」

私たち人間の生活に溶け込むように暮らすネコ。一方で百獣の王と呼ばれ、人間の生活から遠い野生の世界に生きるライオン。

彼らは同じネコ科でありながら、大きさも、生活も異なります。それでも、やはりどこか似ているのです。

写真展「ネコライオン」では、岩合光昭が捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを約180点の作品で展覧いたします。彼らの共通点や差異を感じることで、私たち人間がどこかに忘れてきてしまった「野生」を浮き彫りにしていきます。

似ているようで似ていない。そして、似ていないようで似ている。「ネコライオン」の摩訶不思議な世界を、是非ご体感ください。



- 01 宮城県 石巻市
- 02 タンザニア ンゴロンゴロ自然保護区
- 03 広島県 庄原市
- 04 タンザニア ンゴロンゴロ自然保護区
- 05 石川県 金沢市
- 06 タンザニア セレンゲティ国立公園
- 07 神奈川県 逗子市
- 08 タンザニア ンゴロンゴロ自然保護区
- 09 岩手県 田野畑村
- 10 タンザニア セレンゲティ国立公園



東京都写真美術館 地下1階展示室

〒153-0062 東京都目黒区三軒13-3 第二寄りアンプレイス内
Tel:03-3280-0099 www.syabi.com

*JR 池袋駅南口より徒歩約7分、東京メトロ 池袋駅有楽町線池袋駅より徒歩約10分。
*当館には専用の駐車場はありません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

ネコライオン

岩合光昭によるアーティストトークを開催!

◎開催日程：8/10(土)・8/17(土)

◎開催時間：各回 11:00~15:00~

9月、10月にも開催予定です。
詳細は、決定次第、東京都写真美術館ホームページでお知らせします。

※都合により、イベント内容が変更となる場合があります。
予めご了承ください。



岩合光昭 (Mitsuki Iwago) 略歴
1950年東京生まれ、19歳のとき訪れたガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家としての道を進み始める。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに大自然と野生動物を撮り続ける一方、身近なイヌやネコの撮影も継続し、多くの人々を魅了している。主な著書に「おきて」「セレンゲティ」「ねこ」「どろぼう家族」「ねこ歩き」などがある。
[Digital Iwago] www.digitaliwago.com